



八水 だより



HP:最新の情報を更新中

水産デー開催

～ 創り・繋げて・広めていこう 我らの伝統 水産デー ～

十月二十六日(土)・二十七日(日)水産デーが開催されました。今年は「創り・繋げて・広めていこう 我らの伝統 水産デー」をテーマに掲げ、生徒たちは水産デーを盛り上げようと頑張っていました。

水産食品科が毎年販売するほたて水煮・ほたてサラダ・むらさきいかスティックしようゆ味の缶詰は、生徒が一生懸命に取り組んだ美味しい商品で、皆さんに好評でした。



水産食品科の缶詰販売

三年生は、よりよい高校生活の思い出を作ろうと積極的で、模擬店では焼きそばや唐揚げ、ミニチュロスなどの食品を販売していました。

ステージ発表では、八水大漁太鼓のパフォーマンスが盛り上がりました。掛け声とともに太鼓の振動と熱気が伝わってくる迫力ある演出で感動を与えていました。

また、PTAの模擬店では、保護者によるくじら汁や肉巻きおにぎりなどの販売を行っていました。料理はどれも美味しく、愛情あふれる味でした。また、売上金の一部から、生徒たちへボールペンをプレゼントしていただきました。毎年PTAの方々には、たくさんご協力をしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。



八水大漁太鼓のパフォーマンス

水産デーはたくさんの方にご参加いただきました。こうして伝統的な行事である水産デーが盛大に開催できるのは、地域の方々に愛されてこそイベントだと思っています。水産デーでは、たくさんの方々の生徒たちの笑顔が見られ、素敵な思い出の一つになったと感じています。

「漁師.jp」という全国の水産高校を応援してくれているサイトでは、水産デーのショート動画が公開されています。ぜひ、ご覧ください。



第一次国際航海出航・帰港

水産工学科二年・専攻科一年

九月十二日(木)水産工学科二年生と専攻科一年生(漁業科・機関科)による、第一次国際航海出航式が行われました。今回の航海実習は約二か月間、太平洋にてマグロ延縄漁や航海・機関当直、漁具製作や保守整備などを行います。生徒たちは期待を胸に、大海原へ旅立ちました。

今年は、新型コロナウイルスの影響などで見合わせていた、ハワイ・ホノルルでの寄港地研修が六年ぶりに行われました。

十一月十五日(金)青森丸は無事八戸に帰港し、長期航海を終えた生徒たちは一層成長した姿を見せてくれました。延縄漁の実習では、メバチマグロの漁獲量が三十三トンもありました。



第一次国際航海出航式

講演会「南極と砕氷艦しらせ」

十二月五日(木)に講演会を行いました。講師は、海上自衛隊幹部学校・一等海佐の平川崇氏です。

「南極と砕氷艦しらせ」と題して砕氷艦しらせの活動に関するお話をいただきました。砕氷艦しらせとは、南極地域観測隊の輸送・研究任務のために建造された南極観測船です。南極までの長い道のりや、南極での生活についてなど、興味深い内容が盛りだくさんでした。特に、生徒たちから好評だったのは、南極の水です。本物の南極の水を公開していただき、実際に触ることもできました。



南極の水を触っている様子